

EVENT



●入学式

4月11日(月)に入学式がありました。今年は29名を、新しく
蒜山校地の生徒として迎えました。

一人ひとりの名前を呼ばれ、緊張しながらも元気に返事をする
様子からは、やる気が満ち溢れている感じが感じられました。一
年生の新入生宣誓はとても素晴らしく、これからの学校生活へ
の意気込みを感じることができました。

新一年生には蒜校生の自覚を持ち、素敵な高校生活を送って
もらいたいです。(國森)



EVENT

●新任式・始業式

4月8日(金)に新任式がありました。新た
に、

- ・武村 克彦(たけむら かつひこ) 副校長
- ・岡 ちひろ(おか ちひろ) 先生
- ・渡邊千晶(わたなべ ちあき) 先生
- ・大岩 功(おおいわ いさむ) 先生
- ・前田 桂史(まえだ けいし) 先生

の、5人の先生方をお迎えしました。代表し
て、武村副校長先生から挨拶があり、蒜校へ
の思いを話してくださいました。

始業式でも、武村副校長先生のお話があ
り、新たに始まった生活へとまた一歩、踏み出
したのだと感じました。(楨本)

※新任の先生方へのインタビューは、5月
号以降に掲載予定です。



NEWS

●新入生アンケート

新入生の皆さんにインタビューし
てみました!

Q 今の心境は?(下グラフ)

Q 何が楽しみ?不安?

楽しみ・三座祭・新入生研修・新しい
友達に出会える・スイトン作り・部活
や同好会

不安・勉強面・テスト

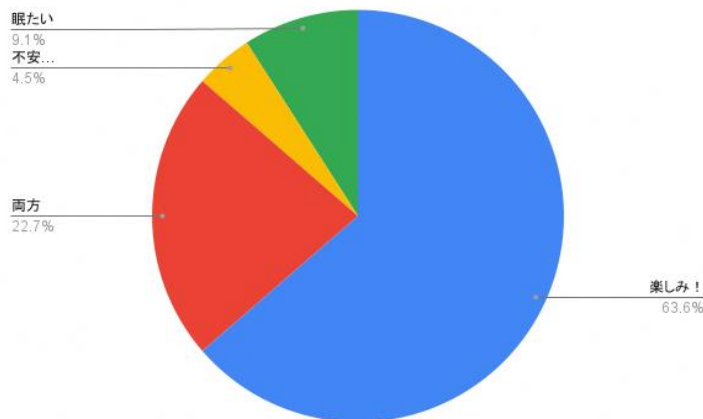
Q 三年間の目標は?

・人前になる・学力を上げる・全力で
楽しむ・休まず登校する

・友達を作る・夢を見つける・消防士
を目指す・規則正しい生活・身長を
伸ばす

一年生の皆さんに今の心境を聞いてみると、半分以上が楽しみと答えて
くれました。その気持ちをお忘れず、これからの学校生活をエンジョイして
ください!不安を持っている人も大丈夫!困ったことやわからないことが
あったら遠慮せずに先輩や先生に相談してください。きつと優しく教えて
くれます。眠いと答えてくれた人はしっかりと寝てください。新しい環境は
特に調子を崩しやすい時期です。体調管理には注意しましょう!

これから球技大会や三座祭など、学校全体で取り組む行事がたくさん
あります。クラスの人たちとはもちろん、他の学年の人たちとも仲良くな
れるチャンスです。積極的に話しかけてみてください。(竹内)



ひるこう タイムズ



第21号 R4. 4. 25

毎月25日発行

勝山高校蒜山校地進路指導課広報係
katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

蒜校生がりポート!

ひるこうタイムズ記者
(取材・撮影・記事執筆)

蒜山ABC部(文化部)

2年生:國森優成

3年生:竹内琉晟・楨本康平

※ ●は生徒、●は教員担当の記事

行事予定

4月

- 27日(水) 第1回生徒評議員会
- 28日(木) 学びの基礎診断
(1~4限、1・2年生)

5月

- 2日(月) 8/22 振替休業日
- 6日(金) 8/23 振替休業日
- 9日(月) スクールカウンセラー来校日
- 11日(水) 1年次生心電図等検査
(13:50~)
- 13日(金) 春季球技大会
- 16日(月) スクールカウンセラー来校日
- 第2回生徒評議員会
- 19日(木) 歯科検診(13:00~)
- 23日(月) 中間考査
- 24日(火) 中間考査
- 25日(水) 中間考査

※新型コロナウイルス感染症の状
況により予定が急きょ変更され
ることがあります。

●特集：転任された先生方からのメッセージ

4月15日(金)の6時間目に転任式が行われました。今回異動された先生の中で、藤原修副校長先生、藤井貴子先生の2名が来校されました。学校生活の様々な場面で大変お世話になり、先生方と過ごした日々を思い出すと、様々なことに挑戦し、共に乗り越えてきたことがとても懐かしく感じました。

式の中では、一人ひとりの先生方にご挨拶していただき、蒜山校地に対する思いをいただきました。今回ご都合がつかず、式に出席できなかった内藤千絵先生、山谷哲平先生も、この蒜山校地での思い出がきっとあることだと思います(なお、内藤先生は4月22日にご来校の際、インタビューにお答え頂きました。山谷先生はLINEでご寄稿頂きました)。先生方の新天地でのご活躍をお祈りいたします。(楨本)

(インタビュー内容は、①蒜校での思い出 ②これから挑戦したいこと ③蒜校生へのメッセージ です。)

【藤原 修 先生(副校長) 県立玉野高等学校校長としてご転出。】

①「論語」の中に、「ただひとことで、一生行っていくに値することば」は、「恕(すなわち思いやり)の心」であろう。己の欲せざる所、人に施すことなかれ(自分がされたくないことは、人にもしてはならない)」とあります。誰もが、大切な、かけがえのない存在です。「恕」すなわち思いやりの心を持って、多くの人との出会いを大切にしてください。

②本年度から施行される新学習指導要領の3つの柱の中で、一番大切なのは「学びに向かう力・人間性」だと私は思います。知らないこと、分からないことは恥ずかしいことではありません。知らないこと、分からないことを分かったふりをしたり、放っておくことが恥ずかしいことです。分からないから、できないから学校で学ぶのです。「失敗と書いて成長と読む」亡くなられた元ヤクルトの野村克也監督がおっしゃっていました。失敗を恐れず、学びに向かってください。

③「未来を語ろう」

過去を変えることはできません。他人を変えることも難しいことです。しかし、自分と未来を変えることはできます。皆さんは、蒜山の宝です。いや、岡山の、日本の、世界の宝です。お互い尊重し合い、大切に学び育ち合い、持続可能な社会を実現させましょう。

(インタビュー:楨本)



【藤井 貴子 先生(英語) 県立和気閑谷高校へご転出。】

①みなさんとの毎日のやりとりです！みんなとたくさん色んな話ができたと。授業でもたくさん話せて楽しかったです。三座祭では自分の学年じゃない人たちとも協力していたのが印象に残っています。

②新しい環境での仕事に慣れることと、名前を覚えるのが苦手なので、早く新しい生徒たちの名前を覚えること。早く自分の色を出せるようになりたいなあと考えています。

③みんなのことが大好きでした。楽しい思い出をありがとう！みんなの今後をこれからも応援しています！！「やる気たか子」でがんばってください！ (インタビュー:竹内)



【内藤 千絵 先生(養護教諭) 県立津山東高校へご転出】

①学校行事はもちろんですが、生徒のみなさんとの日々の何気ない交流が思い出に残っています。素直で思いやりのあるみなさんと話をするのはいつも本当に楽しかったです。

②安全に通勤することをとりあえず頑張りたいです。遠距離通勤になったので、運転中に英語の聞き流しでもしようかなと思ながら早8日。とりあえず今は目の前のことでいっぱいなので、少し余裕が持てるようになったら色々挑戦したいと思います。

③何が起こるかかわからない明日を楽しんで前向きに生きましょう。これからも全力で応援しています！穏やかな9年間をありがとうございました。これからも頑張ってください。

(インタビュー:野尻)



【山谷 哲平 先生(事務) 津山教育事務所へご転出】

①三座祭のリレーで走ったこと。転んだこともありましたが、高校生の皆さんと全力で競争できて、楽しかったです！

②スノーボードでかっこよく滑る！勤務した2年間で、ボードが上達したと思うので、これからも続けたいです！

③蒜山っていいところだったな～と、異動してしみじみと感じています。みなさんも、様々なことに挑戦し、思い残すことのないような高校生活を送ってほしいです。

